



技術開発本部 鉄鋼研究所
加工技術研究開発センター 主任研究員

河内 毅 (1998年入社、素粒子宇宙物理学専攻)

専門性を深め、 お客様の真のニーズに応える

ステイヴン・ホーキング博士のブラックホールに関する研究などで知られる宇宙論に魅せられ、大学では素粒子宇宙物理学を学んだ。研究室では流体解析を用いた星形成の研究に携わり、まったく鉄とはかわりなかった。

「大学院修了後の進路を考えているときに、新日鉄には流体力学の研究に取り組んでいる部門があることを知り、鉄鋼メーカーの研究者として自分の知識を活かせるのではと、初めて興味を持ちました」

入社後はプロセス技術研究を経て、鉄の利用加工技術を研究開発する部署に異動。主に自動車メーカーのニーズに応える研究開発・ソリューション提案に携わってきた。

「お客様との対話の中で、新商品や新技術開発につながるニーズが見えてきます。多くの開発要素を包含したハードルの高い課題が多いのですが、そうした技術的な難問を解決することが、私たち研究者の存在価値だと思っています」

加工技術研究開発センターに配属されてからの数年間、自動車用部材の利用加工技術に関する新たなアプローチを提示し、お客様からの信頼

を得た。しかしそこにとどまることなく、2006年から2年間、自動車工学を体系的に学ぶためドイツ・アーヘン工科大学に留学した。

「自動車工学は材料力学、機構力学、構造力学、流体力学、制御論などさまざまな領域から成る、複雑で奥の深い学問であり、自動車にはこゝうあるべきだという『正解』がありません。自動車工学を習得することは、個々の自動車メーカーが持つ思想をより深く理解するのに役立つています。これからは専門性を深めて、お客様のニーズをつかみ、それに応えていきたいと思っています」



学生時代に使用した素粒子宇宙物理学の専門書『**相対論的宇宙論**』
(小玉英雄著、丸善(株)発行)



留学時に使用した自動車工学のテキスト『**Road Vehicle Suspensions**』
(Wolfgang Matschinsky 著、Professional Engineering Publishing 発行)